



▲有田・香蘭社(初期) 色絵花鳥文耳付大花瓶
H94.5×φ35cm 口径φ37.5cm 底径φ26cm



十八親和アートギャラリー

Juhachi
Shinwa
Art Gallery

当館で所蔵する作品を紹介します

今回ご紹介する「色絵花鳥文耳付大花瓶」は、有田を代表する製陶会社の一つである香蘭社(1875年創立)の初期作とされています。

本作の胴部には、染付の濃淡で雲間を飛ぶ龍と鳥が地文様として施され、龍の鱗や鳥の羽などを金彩が縁取っています。また、扇や丸形の窓を大胆に配置して、その中に鹿や梅などの動植物を淡い色調で絵画的に表現しているのも見所です。

左右に付けられた金色の耳は海豚を象ったとされており、大きな口や鱗などはどこかエキゾチックな印象を与えます。裾に施された幾何学的な文様とともに本作を引き締めています。

江戸末期の1867年に佐賀藩はパリ万博へ参加し、有田の磁器を多数出品したといえます。その後、江戸から明治へと時代の変遷とともに肥前地域の窯業環境も大きく変わっていきませんが、明治に入った1873年のウィーン万博には有田から本作のような大振りの磁器が出品されて好評を博したと伝えられています。1870年代は数年おきにヨーロッパで万博が開催されており、本作もそうした時代背景と併せて見ると味わい深いものがあります。

約1メートルもある器形全体に施された贅を凝らした意匠と、それを実現する卓越した技術による作品は、現在も多くの人々を魅了しつづけています。本作は大型の磁器を中心に紹介している陶磁器展示室1にて公開しています。

(十八親和アートギャラリー学芸員 藤松綾子)

十八親和
アートギャラリー

開館時間: 10:00~16:00(入館は15:30まで)

休館日: 日・月・祝日、年末年始(12/31~1/3)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

